

研究奨励賞選考委員会内規

制定 平成11年10月27日

変更 平成20年 6月27日

変更 平成21年 7月17日

1. 公 募

選考委員会は、日本農村医学会雑誌および Journal of Rural Medicine において、日本農村医学会の名のもとに、対象、応募方法、締切を明記して、日本農村医学会研究奨励賞を公募する。公募対象は原則として、締切前2年間の日本農村医学会雑誌および Journal of Rural Medicine に掲載された日本農村医学会会員の First author による原著論文とする。

2. 選考対象

選考対象は、所定の期日までに応募された論文、および、編集委員の推薦した論文とする。なお、将来の発展が期待される会員の研究論文に対し授与することから、受賞回数は日本農村医学会雑誌および Journal of Rural Medicine とも1回に限る。

3. 編集委員の推薦

全編集委員は、当該期間に日本農村医学会雑誌および Journal of Rural Medicine に掲載された論文の中から、医師・研究者部門、およびコ・メディカル部門の両部門において、それぞれ1～3編の優秀論文を推薦する。

なお、ここでいう研究者は、職種を問わず、大学等の教育・研究機関に所属し、研究を行なう者とする。

4. 評 価

選考委員は、選考対象の論文のすべてについて、

一位からの順位付けを行ない、選考委員会に提出する。提出の期限はその都度選考委員長が定める。期限内に提出のない場合には棄権とみなし、期限を過ぎた提出は無効とする。

5. 選考委員会

選考委員会は、6月または7月の編集委員会の際に開催する。有効投票を集計し、出席した委員で検討を行なう。欠席者は選考に参加できない。選考委員長が出席できない場合には代行者を指名する。

6. 受賞者候補

選考委員の有効な順位値を集計し、医師・研究者部門、およびコ・メディカル部門の両部門において、原則として最小値を得た者を、受賞者候補として理事会に推挙する。2名以上の同順位者が出た場合には、原則として年齢の最も若い候補者を受賞者候補とする。

7. 結果報告

選考委員長は、選考過程および結果について、日本農村医学会雑誌において報告を行なう。

附 則

この内規は、平成11年6月25日より施行する。

この内規は、平成20年6月27日より施行する。

この内規は、平成21年7月17日より施行する。

この内規の改廃は、理事会の議を経て行なう。